

こころと身体が元気になる温泉宿「江田島荘」

「毎日新聞」記事掲載のお知らせ

株式会社レーサム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小町剛）のグループ会社が運営するこころと身体が元気になる温泉宿「江田島荘」の阿部直樹総支配人が、毎日新聞の地域で活躍する人や情報を連載する「山陰・山陽この人」に紹介されたのでお知らせします。

2021年7月に開業した江田島荘は、地元でとれる新鮮な食材を使ったお料理や良質の天然温泉を備え、宿泊という体験を通してお客様のこころと身体が元気になるようなサービスを心掛けてきました。

開業から3年で「ワールドラグジュアリーホテルアワード2024」の高級温泉宿部門のほか、合計3部門での受賞に貢献した阿部総支配人の、江田島への思いなどが紹介されています。ワールドラグジュアリーホテルアワードは、世界のラグジュアリーホテルを対象に優れたサービスを表彰するものです。阿部総支配人は、「今回の受賞をきっかけに江田島が世界から注目される場所になれば大変嬉しく存じます」と話しています。

当社グループは、これからも人々の暮らしや地域社会・地球環境と密接な関わりを持つ不動産を通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。



江田島荘 HP : <https://etajimasou.jp/>



世界トップレベルの宿泊施設が競う「ワールドラグジュアリーホテルアワード2024」の温泉部門で、江田島市の長瀬海岸にある江田島荘（4階建て、全32室）が最高位に輝いた。「ホテル業界のアカデミー賞」とも称される名誉ある受賞に、総支配人として「地元江田島の市



全室オーシャンビューで、天然温泉も楽しめる江田島荘
江田島市能美町で

江田島荘・総支配人 **阿部直樹さん** (34)



民が自慢できる施設として、さらにハイレベルのもてなしを提供していきたい」と意気込む。

2006年に創設されたアワードは、世界のラグジュアリーホテルを対象に優れたサービスを表彰するもので、30万人を超える旅行者や業界関係者らの投票で決まる。温泉部門での受賞と同時に、スモールホテルなど2部門ではアジア大陸最高賞をとった。

地元沸かす「世界最高位」

21年7月に開業した江田島荘は、江田島市が観光拠点として誘致した。オープンのおよそ10カ月前から、コンセプト作りや運営方法、従業員の採用・教育

は、「このころと身体が元気になる」

も務める。営業を休止していた地元産品の直売施設を「えたじま新鮮市場 amamo（あまも）」として24年春にリニューアルオープンさせるなど、島全体の活性化に取り組む。

など開業に向けて準備に取り組んだ。秋田県出身。高校卒業後に上京し、ホテルの専門学校に進学した。当初はウェディング・ブ

温泉宿」。江田島湾を望む全室オーシャンビューの眺望や天然温泉を備え、地元の漁師や農家から仕入れた新鮮な食材を使ったコース料理を楽しめる。コロナ禍の船出だったが、着実に利用者を増やしてきた。